

岩国基地関連の特別要望



令和7年11月

山口県・岩国市・周防大島町・和木町・大竹市
岩国基地問題議員連盟連絡協議会

岩国基地における空母艦載機の着陸訓練に関する要請

【趣 旨】

- 平成12年9月を最後に米軍岩国基地では実施されていなかった、米空母艦載機の着陸訓練（FCLP）が、本年9月17日から25日までの7日間、岩国基地において実施された。
- 県や地元市町では、これまでも、市街地に隣接する岩国基地において、FCLPのような激しい騒音被害をもたらす離着陸訓練の実施は容認できないことを、あらゆる機会を通じて、国及び米軍に対して要請してきており、また、実施中も、直ちに訓練を中止するよう、繰り返し、強く要請したにもかかわらず、岩国基地においてFCLPが実施されたことは、日常的に航空機騒音に悩まされている基地周辺住民に、なお一層の負担を強いるものとなり、誠に遺憾である。
- 今回のFCLPの訓練期間は、計7日間、確認された延べ訓練時間は、36時間に及び、過去に実施された平成10年の訓練を超えるものであった。騒音測定回数も、空母艦載機が概ね1分半程度の間隔で離着陸訓練を繰り返したため、通常時と比べて大幅に増加し、うるささ指数W値の訓練期間の平均は、前年同月の平均を大きく上回っており、地元岩国市に寄せられた苦情件数は7日間で1,064件と、前年同月の総数520件を大きく上回るなど、基地周辺住民の生活に甚大な影響を与えた。

については、国において、今後、岩国基地において、FCLPが二度と実施されることのないよう、次の事項について、特段の措置を講じられることを、強く要請する。

【要請事項】

- 今後、岩国基地において、空母艦載機による激しい騒音被害をもたらすFCLPが二度と実施されることのないよう、米側に求めるとともに、そのためのあらゆる手段を講じること。
- 岩国基地をFCLPの予備施設指定から除外すること。
- 硫黄島において、FCLPが実施できるよう、速やかに硫黄島航空基地の施設の復旧を図ること。
- FCLPの恒常的な訓練施設の早期確保を図るため、馬毛島における施設整備を一層促進すること。

空母艦載機移駐後の状況を踏まえた地域振興策の実施

【趣 旨】

- ・ 岩国基地周辺地域の住民や地元自治体は、平成30年3月の空母艦載機の移駐等により、倍増した航空機による騒音被害や事件・事故等への不安、米軍人の増加による新たな財政需要など、大きな負担を受け入れていることに加え、近年は、外来機の飛来による訓練や米軍艦船の寄港など、基地の運用に様々な変化がみられ、その負担はさらに増加しており、今後も抱え続けていくこととなる。
- ・ 加えて、今回、岩国基地でFCLPが突如実施されたことから、基地周辺住民は、岩国基地においてFCLPが二度と実施されないことが確約されるまでの間、住民生活に甚大な影響を及ぼす離着陸訓練が、今後再び、いつ実施されるかわからないという大きな不安を抱え続けることになる。
- ・ 国においては、こうした基地周辺地域の実情や不安をしっかりと受け止め、十分な騒音対策など、住民の不安解消につながる安心・安全対策はもとより、基地の存在そのものの負担が存在することや、我が国の平和と安全への大きな貢献に見合う地域振興策について、目に見える形で措置し、これに応えることが必要である。
- ・ このため、一層増大した基地による負担や不安を抱え続けていく基地周辺地域の実情を踏まえると、平成27年度に創設され、基地周辺住民の安心・安全や生活の利便性の向上、産業の振興に大きな役割を果たしている再編関連特別地域整備事業(県交付金)について、令和10年度以降の継続が必要不可欠である。

については、国において、次の事項について、特段の措置が講じられるよう、最大限の配慮をお願いします。

【要望事項】

- 令和9年度に終了予定となっている再編関連特別地域整備事業(県交付金)について、令和10年度以降の制度の継続(恒久的措置)を図るとともに、これまで同様の十分な財源措置を行うこと。

◎岩国基地において実施されたFCLPの状況

1 概況

実施期間：令和7年9月17日～25日の間の7日間（土・日を除く）

延べ訓練時間：36時間20分（H10年1月のFCLPの訓練時間35時間17分を上回る）

飛行回数等：1,348回（うちタッチ・アンド・ゴー 592回）

2 騒音の状況

○ 騒音測定回数は、3機から8機程度の戦闘機が概ね1分半程度の間隔で離着陸訓練を繰り返したため、訓練時間中（約36時間）の騒音回数が前年9月の月間値の約3倍を記録する地点があるなど、通常時と比較し大幅に増加した。

○ 加えて、FCLP訓練以外の通常の訓練も実施されたこと等から、うるささ指数（W値）の訓練期間中の平均は、岩国市をはじめ、周辺の周防大島町や和木町、広島県大竹市においても、前年同月の平均を大きく上回る状況となった。

測定位置 [測定場所]	騒音測定回数			うるささ指数（W値）			訓練期間中 最大騒音値
	訓練時間の計 （約36時間）A	前年9月総計 B	増加率 A/B	訓練期間 平均C	前年9月 平均D	増加値 C-D	
岩国市川口町 [民家]	1,431回	(461回)	310%	80.4	(70.3)	+10.1	92.9dB
岩国市旭町 [旭会館]	1,579回	(559回)	282%	81.4	(71.4)	+10.0	93.5dB
岩国市尾津町 [卸売市場]	1,541回	(494回)	312%	81.7	(70.1)	+11.6	101.1dB
岩国市三笠町 [東中学校]	1,327回	(398回)	333%	78.3	(68.3)	+10.0	92.1dB
周防大島町東三蒲 [三蒲小学校]	164回	(60回)	273%	76.0	(55.7)	+20.3	96.8dB
和木町和木 [集会所]	137回	(94回)	146%	64.0	(52.5)	+11.5	83.1dB
広島県大竹市阿多田 [漁業協同組合]	121回	(200回)	61%	74.3	(64.7)	+9.6	94.1dB

《参考》H12年9月に岩国基地で行われたFCLP（直近事例）の騒音状況（訓練期間：2日間）
岩国市川口町 騒音回数 902回 最大騒音値 94.9dB

3 苦情の状況

訓練が実施された7日間で、岩国市へ寄せられた航空機騒音に係る苦情件数は、1,064件（前年同月520件）。また、周防大島町に82件、和木町に16件の苦情が寄せられた。

住
民
の
声
・子どもが寝る時間なのに、騒音が続いている
・夜勤なのに眠れない
・この騒音が今後も続いたらこの島での子育ては難しい等